

台風前の避難所計画

答え・考え方

対象：小5～小6 国語 × 算数 × 理科 × 社会

答えだけでなく、「どの情報を使ったか」まで確認しましょう。

STEP 1 安全な避難先を選ぶ

答え：A小学校

根拠：A小学校は定員150人なので126人全員が入れ、海拔18mの高台にあります。

B公民館は定員100人で26人入れず、低地で最大2mの浸水も予想されています。

採点のポイント： 定員と浸水リスクの両方を比較できていれば正解です。

STEP 2 不足する飲み水を求める

必要な水： $126 \times 3 \times 3 = 1,134\text{L}$

必要なボトル： $1,134 \div 2 = 567\text{本}$

不足： $567 - 500 = 67\text{本}$ 答え：全部で567本、あと67本。

採点のポイント： 人数・1日量・日数を掛け、最後に2Lで割ります。

STEP 3 避難計画を判断する

判断：67本を追加できれば、A小学校への避難計画は実行できます。

解答例：A小学校は126人全員が入り、浸水しにくい高台にある。避難は橋の通行止めより前に終えられ、飲み水をあと67本用意すれば3日分を確保できるため、安全に実行できる。

採点のポイント： 避難先・時間・飲み水の3条件をすべて根拠に入れます。

考え方の流れ

人数と災害条件 → 避難先の比較 → 備蓄量の計算 → 時間条件の確認 → 実行判断